



PHOTO NEXT 2024

[開催のご案内]

2024年6月11日[火]-12日[水]
パシフィコ横浜 B ホール

主催：株式会社プロメディア
主催団体：日本フォトイメージング協会
一般社団法人日本写真映像用品工業会

Go forward into the future

思い出も記録もカタチに残す価値



■ 毎年、さまざまなセミナープログラムを企画していますが、人気を博す傾向は大体パターン化されています。

■ ライティングやレタッチをはじめとするテクニカル系は、日々の撮影ビジネスに直結しやすいこともあり、毎回立ち見が出るほど大勢の来場者で埋め尽くされやすいと言えます。逆に新しいテクノロジーや画期的なプロダクトおよびサービス関係は、その進化の過程についてこられないのか、あるいは自身のビジネスを踏まえたくてピンとこない部分もあるためか、テクニカル系のセミナーに比べるとそれほど大きくは注目されない回もありました。

■ しかし後者の内容こそ、主催者が最も強調したいプログラムであり、そこに開催コンセプトと連動させてメッセージ性を込めています。過去には電子出版や3Dフィギュア、4K8K、ドローンなどに焦点を当ててきました。

■ これらの技術がフォトビジネスにいかなる影響をもたらすのか、といった点にスポットを当てながら展示会名に相応しい内容として採択してきました。2023年は「デジタルツイン」を取り上げました。新しいテーマに関心を示す来場者は、毎年必ずいます。そして、そうした人たちが新たな可能性を切り拓く可能性を秘めているのです。

AIがもたらす新しい写真映像ビジネスとは

■ 2024はいかなる「NEXT」を打ち出すか。主催者にとっては最も頭を悩ますところであり、同時に楽しく練ることができる企画として、1番情熱を注ぐ部分になります。現在、構想にあるのが「AI」です。

■ 先日、主催者が発行する、撮影ビジネスの現場からいまを伝える情報誌「スタジオNOW」の取材で、興味深い編集ツールを見かけました。AIを使って個々のフォトグラファーの編集を学習して自動編集するというもので、写真編集を効率化するサービスとなっています。

■ 今まで何十時間とかかっていた画像編集の作業が、数十分で済んでしまうのです。フォトグラファーにとっては、夢のようなツールですね。現時点では改良の余地はまだあるようですが、AIを使ったツールなので経験を積みれば積むほど進化するという特徴があります。

■ なぜ、こうしたツールが登場するのでしょうか。1つに、AIテクノロジーが一層グレードアップしていることが挙げられます。では、こうした状況をいかなる目的で活かすか。ポイントとなっているのが、「AIが担う役割」と「フォトグラファーの主張」を切り分けていること。つまり、このAIツールは「作業時間の効率化」を最大の目的としていますが、一方でフォトグラファーのこだわり、特色、クリエイティブな領域までには踏み込まずに「オリジナリティを活かす」という側面を持たせています。

■ 変わりゆくAIの世界。2024では、その一端を来場者の皆様にお届けできたらと考えています。一方で、詳しくは次ページに掲載しますが、新しい切り口によるパビリオンを新設する予定です。もちろんテクニカル系のセミナーも充実させていきますので、引き続きご期待ください。

「美容×写真」 「カタチの価値」



■ これまでに「PHOTONEXT」として13回、前身の「スタジオ写真フェア」を含めると18回、展示会イベントを開催しました。毎年、その年の写真業界、さらには世の中の流れ、技術革新等を踏まえてテーマを捻出。前回は「More Professional～王道と新生～」としました。そして今回は「Go forward into the future～思い出も記録もカタチに残す価値～」を打ち出します。

■ まずは、このテーマを掲げた理由について説明しましょう。端的に言えば、コロナ禍による影響を受け、フォトビジネスが新たな時代に入り、そのなかでステップアップし、さらなるプロフェッショナルを極める、という流れで今日に至りました。フォトビジネスの原点に立ち返るとともに、NEXTに向けた取り組みを模索するという考えが根底にあります。

■ 2024は、その流れを引き継いだテーマとなっています。「次なる写真映像ビジネス」という視点はこれまでと同じですが、さらに具現化した新たな取り組みを目論んでいます。

新しいパビリオンとして考えているのが「美容×写真」と「カタチの価値」の2つです。それぞれのコーナーの概要について触れる前に、まずはこれらのテーマを採択した理由について記したいと思います。

■ この考えの前提にあるのが、主催者コーナーの拡張版としてテーマ性のある内容を深掘し、「ブース&セミナーイベントという構成で動線を図る」という点です。これまでの主催者コーナーは、プリント商品や撮影機材、衣装などバラエティに富んだブースの集合体で、一部セミナーと連動した企画ブースもありました。

■ ただ今後は、この主催者コーナーを開催コンセプトと連動させながら、よりテーマ性のある内容として明確化したいと考えました。まず今回は、「美容」「カタチ」をキーワードに掲げます。

■ ではなぜ、この2つのテーマなのか。まず「美容」は、撮影ビジネスに携わる方々にはおわりの通り、大に関連するジャンルです。ヘアメイクやスタイリングは、ハイクオリティな撮影をするうえで欠かせない要素です。出張撮影を中心に活動するフリーランスフォトグラファーのなかには、着付けの技術を習得し、自ら手がけている人もいます。

■ 「美」を追求するうえで、着付け・ヘアメイク・撮影と、それぞれのプロがチームとして手がけるケースが散見されることから、各々がそれらの知識を得ておくことは重要です。それによりアイデアが膨らみ、表現の幅がさらに広がることでしょう。記念写真からコマーシャルまで幅広く手がけるフォトグラファーと美容スタッフとのトークセッションや撮影ライブ、さらには次回公式アンパサダーの撮影&ヘアメイク&スタイリング秘話およびデモンストレーションなど、まだ構想段階ではありますが、実現すれば見応え満載となることは間違いありません。

何のために写真プリントをするのかを考えよう

■ もう1つの「カタチの価値」、これは読んで字の如く、2024のサブテーマともリンクした内容となります。

■ 何事も、根本が大切になってきます。日々、読者の皆様が取り組まれている仕事について、「何のためにやっていることなの

《人気イベント継続開催》

◎ 衣装展示即売コーナー

毎年大人気のアウトレットコーナーに併設。拡販の場、掘り出し品をゲットできる場となります。

◎ 特設ギャラリー

業界団体コンテストからPHOTONEXTでしか見られない展示企画まで。斬新なアイデアも随時募集中。

《公式HPもリニューアル》

各社ブースやセミナー企画プログラムを順次アップ。公式LINEアカウントやインスタグラムをはじめSNSでの告知や、月刊誌「スタジオNOW」にも掲載。ブース出展との連動にもつなげられます。

か？」と考えたことはありませんか。スタジオNOWも、そしてPHOTONEXTも、いつも心がけていることは「単なる作業になっていないか？」を自問自答することです。

■ 本誌のページを埋めるために、セミナーの枠を埋めるために、無理に探してくるネタほど新鮮さに欠け、読者や来場者に見向きもされません。そこに筆者や主催者の「想い」が伝わらないからです。

■ 写真プリントにも同じことが言えるのではないのでしょうか。たとえば、店頭で「フォトブック」という名前で商品を陳列したとしましょう。果たして、どういったお客様が、どんな目的でその商品を購入されるのでしょうか。

■ 売れないのであれば、その原因を考えなくてはなりません。ウェディングのアルバムが売れるのは、「結婚の記念に残す」という明確な目的があるからです。子どもがメインターゲットなのであれば、記念日や学校行事にちなんだ商品名にして売り出してみたいかがでしょうか。

■ 写真のプロとして活動するならば、プリント商品を買って然るべきです。何のために売するのか。シンプルに考えましょう。「未来に残すため」です。結婚式を例に挙げれば、ドレスも料理も花も、当日の会場の様子も、新郎新婦はもとよりゲストたちの表情、感動的な雰囲気も、すべて唯一カタチに残せるのが「写真プリント」です。未来の宝物を届けるという、とても価値のある仕事に取り組んでいるのです。

■ 写真だからできること。それは業界の垣根を越えて、さまざまなシーンでその力が発揮されます。そうした内容に基づいたトークセッションやワークショップ、連動ブースを設けたパビリオンは、2024の大きな見どころとなることでしょう。

■ 開催概要および詳細は、今後公式サイト(www.photonext.jp)に掲載いたします。



最新情報を随時お送りいたします！

フォトネクスト公式 LINE アカウント
ぜひご登録ください！



最新情報は フォトネクスト通信誌 「NEXT INFO」にて大々的に発信

「NEXT INFO」は、PHOTONEXT 開催に向けてのビジョン、セミナーをはじめとするイベントプログラムの詳細、出展社イチオシ情報など、さまざまな内容をお届け。最新号は公式 LINE アカウント、インスタグラム、X (旧ツイッター)、フェイスブックにてお知らせいたします。バックナンバーは、公式ホームページよりダウンロードいただけます。

2024 主要スケジュール

- ◎第1次申し込み締め切り：1月31日(水)
- ◎最終申し込み締め切り：2月29日(木)
- ◎出展社説明会 / 小間割抽選会：3月22日(金)
- ◎搬入日：6月10日(月)
- ◎会期：6月11日(火)～12日(水)

※締め切り日、説明会開催日程は変更になる場合があります。

各企画プログラムの詳細は、公式ホームページ (www.photonext.jp)、公式 LINE アカウント、インスタグラム等で情報発信。会期1ヵ月前には「開催案内パンフレット」を10万部発行。全国に向けて配送します！

2024年
横浜でお会いしましょう！

PHOTO NEXT 2024

フォトグラファーズ & フォトビジネスフェア

www.photonext.jp



PHOTONEXT 情報満載 月刊誌「スタジオ NOW」

撮影ビジネスの現場からいまを伝える情報誌「スタジオ NOW」。2023年7～9月号では2023年の「PHOTONEXT」の様態をレポート。引き続き、最新トレンドも含めて発信いたします！

主催：株式会社プロメディア
主催団体：日本フォトイメージング協会
一般社団法人日本写真映像用品工業会

特別協賛：日本営業写真機材協会

主催者事務局
株式会社プロメディア

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 16-1 第11大協ビル 2F
TEL 03-6302-0801 FAX 03-6302-0802 info@photonext.jp